

中国から呉さん・倪さん来日

四川義信文化用品有限公司(森松㈱の合弁会社) 総経理 呉 義雲



10/18～10/28まで、森松㈱の招待により5度目の来日をしました。そして、今回は最も有意義な来日となりました。この期間中、幸い第7回森松展に参加することができ、そこで見たものは、オレフィン生地、3D模様のPVC生地やオレフィンで作った新製品など、私の思いもよらない斬新な製品の数々でした。日本の技術革新、製品の世代交替の速さに驚くと共に自分の視野が大きく広がりました。これまで帰国の際は、いつも家族や友人への手土産を山のように持ち帰っていましたが、今回は違いました。必要最小限のお土産の他は、集めてきたサンプルを両手いっぱいに掲げて帰りました。私にはこれらのサンプル、着眼点が必要であり、よく研究し、これらのサンプルに基づいて中国の市場に合った製品を設計・開発したいと考えています。この理想が現実になるよう努力するつもりです。この場を借りて私に日本で学習する機会を与えて下さった森松㈱の森社長をはじめ、全社員の皆様に心よりお礼申し上げます。

森松㈱全ての皆様のご支援、ご協力のもと、義信公司一同は来たる21世紀に向け、社会のためにより新しく良い製品を生み出すことができると自負しております。

森松㈱上海事務所 倪 建成



森松㈱での2週間の研修では、印刷工場、高周波加工等の工場を見学し、会社の生産や経営方針について理解を深めました。特に今回は森社長、土田社長、荻原社長、北沢社長と一緒する機会が多く、交流を深められたことがとても印象に残りました。各方面において大変熱心で温かいご教示を戴き、多くの収穫がありました。

10月22、23日は社員の皆さんと第7回森松展に参加しました(2回目)。私が受けた印象は、斬新性と環境保護の趣きが強いです。オカモト㈱とアキレス㈱のブースではPVC生地に代わり、新素材のオレフィン生地が展示されていました。私が98年7月に来日した時はオレフィン加工の研究段階だったと記憶しています。それが今日では生地の生産から商品の加工まですでに成功を収め、会社の協力精神、新製品の開発、仕事に対する愛着、執念のようなものを実感しました。そして、今回の森松展のテーマ「共存」は、まさに供給、生産、販売の共存と人と環境の共存思想がうまく合致していると感じました。

私の研修期間中、皆様には大変お世話になり誠にありがとうございました。森松㈱の21世紀への更なる発展のため、自分もその一端を担えるように頑張ります。

『携帯電話でお金もらう』

今、私のEメールに携帯電話の宣伝がある。今買うと現金二万五千円貰えるそうです。タダ・〇円は見た事、聞いた事がありますが、現金おまけしませとは……。スゴイ販売競争をやっている。今年九月末で五千二百万台に達し今や日本人の二人に一人が携帯電話・PHSを持っている。東京営業所の黒松さんは常時二台所持して営業している。また、先日会った損保会社の営業マンは電子メールや会社データーを携帯のディスプレイで確認していたし、若者は声で伝達するより文字で発信している方が多いらしい。電車の中で迷惑な携帯電話の話し声も、ボタンを押しながらの電子メールのやりとりが変わってきた。良い傾向になったと思う。

二十世紀から二十一世紀へ、この電話が大きく世の中を変える原動力になっている気がする。

携帯電話の電話帳に登録されたメンバーが一番大切な仲間である。仕事上の電話や仕事上の電子メールは職場の電話やパソコンへ、プライベートな電話や電子メールは携帯電話へと、新しいネットワークがどんどん生まれるのでしょう。

まず、私は携帯の使い方を勉強しよう。そこから始めます。

森 信之

森松トリオ

『会社人間、仕事人間』

「仕事が嫌いだ。」とか「仕事が面白くない。」だとか言う人がいる。でもそれは一般的には間違いない。実のところは「会社が嫌い。」なのである。会社が嫌いだから仕事が面白くないというのが本音であろう。

仕事には苦労や努力が付き物であるが、やり遂げた後の達成感で精神的にも充実できる。そうした時には必ず「仕事は面白い。」と心から思えるはずである。しかしいつもうまくはいかない。うまくいかない時の方が多くは理由を会社のせいにしてないだろうか。自分のやり方が悪いか、頑張りが足りないとか、を考える前に……。結局、会社が面白くない理由を自分で作っていないだろうか。

「会社人間より仕事人間でありたい。」転職雑誌のコマーシャルで、そんなフレーズがあった。(と言っても別に転職を勧めている訳ではない。) 仕事人間であれば常に自分がした仕事の結果に納得がいくはずである。そして会社のせいになっている暇もない。会社に何を期待しているのか。そんなことを考えるのなら、もっと自分に期待した方がよい。自分自身を心から見つめられる人こそ本当の仕事人間である。そして充実した人生の持ち主である。

すでに社会は会社人間不要の時代になっている。

牧野光昌

喜怒哀楽

『良い経験』

先日、子供が来年より幼稚園に入園するため願書の提出にいききました。当日の朝八時より受付のところ、前日の夜十一時三十分に行った所もう既にたくさんの方が並んでいました。幼稚園に入るため無く、近所の幼稚園へ入れるのもこんな事すると疑問を感じながら最後尾の方へ行く園児が座る椅子が二十個残っています。最後の椅子に張り紙が有りました。「三年保育の受付」ここまでで受付終了」と書いてあり、定員百名の所すでに八十名が並んでいたことになりました。すごい事だなあと、「後、八時間待つんか」と考えながら椅子に座り廻りの状況を眺めていました。お父さんが半分、お母さんが半分くらい来ている。すでに寝ている人もたくさんいました。

元氣なお母さん方は、携帯電話を活用して近所の他の幼稚園に並んでいる友達から状況を聞いていたり、「一番の人は昼の二時から並んでいるのよ」とか去年は「もう夜中の二時には満席だった」とか興味深い話を大きな声で喋っていたので、私も一番に並んだ人はどんな顔をしているのか興味深くなり見に行ったら所、よほど疲れているのか地べたに毛布にくるまって寝ていました。しばらく見ていて面白い発見をしました。お父さんが並んでいる所は、知人が後から来てものを置いていて席を確保してあげている。しかしお母さん方は、来るだろうと思っている人には、「早く来たほうがいい」と電話はしてあげることが確保しておこうという気持ちは、全くないようです。たまたまここにいた人たちだけが知れませんが……。

さて、願書提出の時間になり最後尾を見るとなんとまだ席が三つ残っているじゃ有りませんか。最後の最後僕たちの苦労も知らず提出十分前に「なんかあったの」という顔で最後尾に並んだおっちゃん顔が頭に残って忘れられません。「あそこの子供だけには負けるな」と今後子供を育てていこうかと思えます。

さて今回の教訓ですが、「情報を感わされず落ちついた行動をしよう」と思いました。並ぶ並ぶと言う情報が先行してしまい、百名も定員がありました。情報も疑ってみよう、良い経験でした。

黒松康郎

暮らしのエッセイ

『同窓会』

つい最近の話ですが、高校の同窓会に行ってきた。二十五年ぶりの事で卒業後初めてという事も有り、案内状が届いた時は懐かしさと同時の楽しい思いが蘇る気持ちで迷わず出席に○を付けたものです。

知った仲間四五人にも連絡をしたところ抜け出せぬ用事とかで当日は友人一名のみを従え、会場の有る某ホテルに到着。しかし、待合室であるロビーには徒ならぬ一団。何だこの中高年……。どうやら同級生らしい。

案内状で確認。間違いない。知った顔を探しても心当たりがまるで無い。心細さを感じながらも、名簿に記入したところ同じ組の同級生は我々二名だけとの事。それでも担任だった先生の顔が見えた時は懐かしく思い挨拶に行くと、さっぱり我々の事を忘れてしまっている様子……。やがて会が始まりしばらくすると、何人かが声を掛けてくる。お前知ってる、とか誰々覚えとる? とか。とにかく名札も無いものだから、そこらじゅうお前、あなただの声が聞こえる。話に耳を傾ける内に共通の話題が出てきた。

やっと同級生の実感を感じられ、あたりの顔を伺うと、あーこいつ居たよなとか何となく覚えの有る顔に見えてくる。皆すっかり年取って、あれから四半世紀、無理もないかな。行って良かったと思えます。帰って暫くの間、その余韻が頭から離れず心地良い気分になりました。しかし次回が二十五年先なら何人出席出来るでしょうかね。

成瀬勝英

2000年カレンダー

は休日

月	火	水	木	金	土	日
MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
・	・	・	・	・	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24 31	25	26	27	28	29	30

月	火	水	木	金	土	日
MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
・	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	・	・	・	・	・

月	火	水	木	金	土	日
MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
・	・	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	・	・

月	火	水	木	金	土	日
MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
・	・	・	・	・	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

月	火	水	木	金	土	日
MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	・	・	・	・

月	火	水	木	金	土	日
MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
・	・	・	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	・	・

訪中報告

10/11/11/5の間、初の中国出張をさせて頂きました。上海の倪さんが日本へ研修に出ている間の業務の穴埋めということで、上海蟹を味わうゆとりもなく慌しく過ぎて行きました。また自分の未熟さをひしひしと感じ、社長の顔を思い出している寝苦しい夜を過ごしましたが、会社に戻った時は本当にほっとしました。行きと帰りには四川の義信公司を訪問し、連日呉社長と社員の皆様の温かい接待を受けました。義信公司は社員の平均年齢二十代前半という大変若くて活気のある会社です。お世話になった分、何とか森松と義信公司の両方に利益のあることをしたいと思います。

このように良い機会を与えて下さった

森社長、業務上
ご協力下さった
皆様、メールで
励まして下さった
方々に心から感
謝しております。
感謝！

小澤由紀子



上海的生活

最近上海もすっかり冬の天気になりました。今回は中国の学生生活を紹介します。中国の学生寮は四人から八人部屋というのが一般的で、設備は電話と電気以外は無く、しかも電気は夜十時半に止まり、その後は充電しておいた電灯で勉強するか、街灯の下で（／＼）本を読むということもよく聞きます。

実際、友達の呉君の部屋を見せてもらうと、部屋には一つのテーブルを二段ベッドが囲んでいるような簡素な部屋でした。こういった部屋を見せられると、私の二人部屋が狭いとかどうこう言えなくなっています。以前合宿所暮らしを大学時代に三年ほど経験した私としては、人気（ひとけ）のある集団生活の方が楽しい所もありますので、一度潜り込ませてもらうのも面白いと思います。その時にはきっと面白い報告が出来るはずなので。



で。

森直樹

1999年12月の行事予定

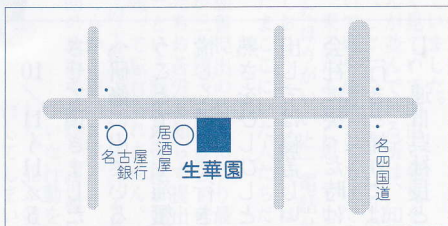
29日(水)	28日(火)	27日(月)	25日(土)	〃	24日(金)	23日(木)	21日(火)	17日(金)	15日(水)	〃	13日(月)	12日(日)	〃	11日(土)	10日(金)	7日(火)	4日(土)	〃	2日(木)	
正月休み(5日まで)	仕事納め	坂本さん誕生日	経営会議 15時10分 営業会議 16時30分	早く帰りましょう!!	クリスマスイヴ (神宮)	交通遺児を励ます会	生産会議 17時45分 天皇誕生日 17時40分	編集委員会	改善会議 18時	誕生日会	橋本さん誕生日	中国迷の会 18時	武中さん誕生日	「我楽多文庫」	第二土曜日休み	不二パーク 清遊会	菱和会 多度C.C	石川さん誕生日	第一土曜日休み	時局社・講演会 小沢さん誕生日

営業さんのおすすめランチ

お店の名前：中華料理 生華園

お店の住所：名古屋市南区上浜町285 ☎612-7075

MAP：



おすすめ MENU & Price：

スタミナ定食 520円

コメント：内容は、ニンニクの良く効いたうめぼし入りのラーメンとちょうど良い大きさのヤッコが付き少し多目のゴハンに漬け物です。仕事が忙しい時のスタミナ補給に最適です。

他にもリーズナブルなセットがあり、お値打ちに昼食が得られます。

(例)ラーメン+チャーハン=500円

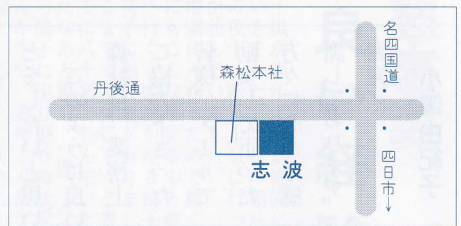


西田 聖一

お店の名前：志波 星崎店

お店の住所：名古屋市南区丹後通5-19

MAP：



おすすめ MENU & Price：

カレーうどん(ライス付) 850円

コメント：このカレーうどんは、実はメニューには載っていません。隠れメニューなのです。みそ煮込みうどんも人気ですが、カレーうどんもなかなかいいと思います。みなさん、志波さんには、何度も行っただことがあると思いますが、カレーうどんを知る人は少ない…。

※志波での忘年会をご希望の方は服部まで。



西口 悦史

家族忘年会

会場：居酒屋我楽多文庫昭和ビル店

12月11日(土)

11:30~13:30

司会：稲葉善貴 幹事：成瀬勝英

編集後記

早いもので、私が編集委員長になりました。今年が経ちました。今月で『営業さんのおすすめランチ』は最終回になります。いかがでしたか。

『上海的生活』などはなかなか好評?だと聞きましたが、来年二〇〇〇年の【波紋】も過去一七四回の伝統を守りつつ、今まで以上にすばらしいものにしていきたいと思っています。

編集委員一同これからも頑張りますので、皆様どうぞ宜しくお願い致します。



服部 高久